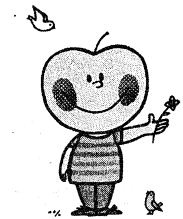


4 月下旬からの高温で生育が一気に進み、ふじの満開時点で昨年より 5 日程度早い状況です。  
開花が一気に進んだ影響で、一部で定期防除が遅れています。6 月上旬までは、黒星病・黒点病の重要防除時期となっていますので、引き続き散布間隔は 10 日として進めましょう。また、開花期や落花後の定期防除が遅れた場合は、今回の散布をやや前倒しして進めてください。加えて、アブラムシ類の発生が開花期頃から見られます。死角がないようにタツプリ散布しましょう。

## りんご



### 5 月下旬の薬剤散布

散布時期は、前回より 10 日後とする。

開花直前や落花後の定期防除が遅れた場合は、前倒しで散布すること。

散布時期：5/20～25 頃

\* 散布時期は目安となります。各園の生育状況を良く確認してから散布しましょう。

散布薬剤：水 1 0 0 <sup>リットル</sup>

展着剤 1 0 ml

モスピラン顆粒水溶剤 2 5 g (前日、3 回) \*注意事項③参照

ユニックス Z 水和剤 2 0 0 g (45 日前、4 回) \*注意事項①参照

スイカル 1 0 0 g (カルシウム剤) \*注意事項②参照

対象病害虫：黒星病・黒点病・赤星病・うどんこ病・褐斑病・斑点落葉病・炭そ病

アブラムシ類・カイガラムシ類・リンゴワタムシ・シンクイムシ類・カメムシ類

ギンモンハモグリガ・キンモンホソガ

10 アール当り散布量：500 <sup>リットル</sup>

散布日 月 日

散布量 <sup>リットル</sup>

#### 【注意事項】\* 良くお読みください。

- ① ユニックス Z 水和剤はサクランボに著しい薬害が生じるので絶対かからないように注意する。飛散が心配される場合はトレノックスフロアブル 500 倍 (収穫 30 日前、5 回) を使用する。
- ② カルシウム剤のスイカルは、ビターピット・果実軟化防止や果実からの油上がり予防、果実の日持ち性向上、新梢の徒長抑制などに効果があるので加用する。今回から最低 5～6 回加用散布する。
- ③ モスピラン顆粒水溶剤に代えて、モスピラン水溶剤の 4,000 倍でも良い。
- ④ 低温で降雨が続く場合や前年度に黒星病・黒斑病が発生した園は、5 月末にアントラコール顆粒水和剤 500 倍 (45 日前、4 回) を特別散布する。
- ⑤ 6 月末まではサビの発生しやすい時期なので高温時の散布は避けること。
- ⑥ 不明な点は、営農センターまでお問い合わせください。

裏面もご覧ください。

りんご生育状況

ふじ生育状況調査（調査地点：平岡）＊満開時点：前年比－6日

| 年度    | 発芽   | 展葉   | 開花   | 満開  | 落花   |
|-------|------|------|------|-----|------|
| H 2 1 | 4／2  | 4／14 | 4／29 | 5／3 | 5／9  |
| H 2 2 | 4／1  | 4／13 | 5／4  | 5／6 | 5／12 |
| H 2 3 | 4／13 | 4／20 | 5／7  | 5／9 | 5／15 |
| H 2 4 | 4／12 | 4／19 | 5／1  | 5／3 | 5／8  |

参考：小田中  
発芽：4/10  
展葉：4/17  
開花：4/29  
満開：5/1  
落花：5/6

参考：岩井  
発芽：4/15  
展葉：4/21  
開花：5/2  
満開：5/6  
落花：5/10

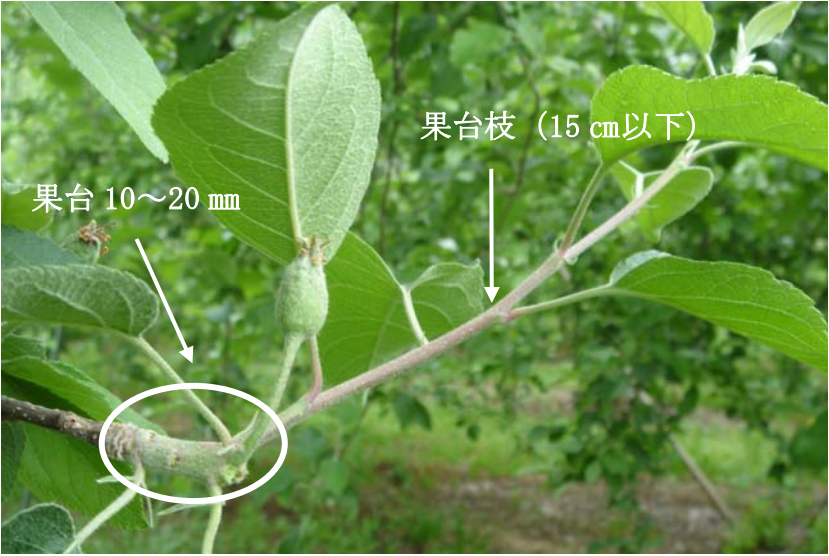
本年は、発芽や展葉期頃までは、低温の影響で昨年並みでしたが、4月25日過ぎから連日最高気温が夏日付近まで上昇し、最低気温も高く推移したため、開花が早まりました。また、全域で開花から満開までの生育が早く、開花期間も平年より短い傾向となりました。開花期間中の高温で、中心花の褐変が早く、不受精（カラムツ）が心配されています。また、アブラムシ類の発生が昨年より早く、葉を巻く被害も散見されます。病害の予防を含めて、定期防除の際は、散布死角がないように注意しましょう。

予備摘果について

- ☆ つがる、秋映、陽光、紅玉の側果はつるサビが発生するので極力中心果を残す。
- ☆ 特に“つがる”や“秋映”は予備摘果が遅いと側果の肥大が中心果を上回りサビが発生する場合があります。
- ☆ ふじ・王林は側果でも良いので肥大・果形を優先して1果そう1果にする。
- ☆ ふじは早期に予備摘果を行うことが大玉生産につながり、隔年結果も防げる。着果量が少ない場合は、樹勢コントロールのため果形不良果でも着果させる。

【残す果実】

- 花そう葉が多い果実
- 果梗が長く太い果実
- 縦長で肩がはっているもの
- 果台が 10～20 mm の果実（ふじの場合）
- 果台枝が 15cm 以下の果実（ふじの場合）



～ふじの青玉果除去対策～

本年も、果台が 2cm 以上伸長したのが見られます。この長い果台に結実した果実は、収穫時に青玉果（光玉）になることが多いです。摘果時に極力除去するようにしましょう。詳しくは講習会で対策を講じますのでご参加ください。

